

WebClass利用ガイドライン

【利用形態】

利用形態は3種類あり、その内容は以下のとおりです。

○授業

学生が履修登録する科目（ボランティアなどの例外的な科目を除き、単位が設定されている科目）。

○一般利用（授業関連）

ボランティアなどの例外的な科目、複数開講科目の共通コース、複数教員担当科目の個別コース、入学予定者対象の入学前ガイダンス、ゼミなど。

○一般利用（授業以外）

学内アンケート、会議等での資料配布など。

それぞれの利用形態について、以下のとおり運用します。

いずれの利用形態においても、利用目的は学内での教育、研究、業務に限ります。

TCUアカウント所持者以外の不特定多数を対象とするようなアンケート等での使用は極力控えてください。

《授業》

・コース登録

自動反映により登録されます。

・コース管理者

授業担当者。

・コースへの学生の登録

履修確定前はコース管理者が手動で登録します。

履修確定後は履修登録された学生の情報が、自動反映により登録されます。

・コースの利用可能期間

授業開講期間。

※期間終了後も、過去授業の一覧より表示、参照、教材のコピー等は可能

・コースデータの保存年数

5年。ただし、授業支援システムとしてWebClass以外のソフトウェアが採用された場合、保存年数が5年以内であっても、コースデータは移行されない場合があります。

《一般利用（授業関連）》

・コース登録

教員からの申請が必要です。以下のWebページより情報基盤センター宛て申請してください。

<http://www.itc.tcu.ac.jp/application/teacher/webclass.html>

・コース管理者

申請者に入力されたコース管理者。

・コースへの学生の登録

原則としてコース管理者が手動で登録します。

・コースの利用可能期間

授業開講期間。

※期間終了後も、過去授業の一覧より表示、参照、教材のコピー等は可能

・コースデータの保存年数

5年。ただし、授業支援システムとしてWebClass以外のソフトウェアが採用された場合、保存年数が5年以内であっても、コースデータは移行されない場合があります。

《一般利用（授業以外）》

・コース登録・継続

教職員からの申請が必要です。以下のWebページより情報基盤センター宛て申請してください。

<http://www.itc.tcu.ac.jp/application/teacher/webclass.html>

・コース管理者

申請者に入力されたコース管理者。

・コースへのメンバーの登録

原則としてコース管理者が手動で登録します。

・コースの利用可能期間

申請時に年度末までの任意の期間を設定可能。

・コースデータの保存年数

最後に継続申請があった年度まで。

・注意事項

(ア)授業時間内（9:00～18:40）に提出締切時刻を設けないなど、授業での利用に極力影響が出ないように配慮してください。

(イ)利用は年度区切りとします。申請したコースを次年度も引き続き利用したい場合は、継続申請が必要です（継続申請の無いコースは次年度以降はロックされて利用できなくなります）。

(ウ)WebClassは授業利用を優先とします。高負荷またはディスク容量不足により、授業利用に影響が出た場合は、当該コース、または全ての授業以外の利用を目的とするコースの利用を停止させていただく場合があります。

【著作権に関する注意】

教材作成時の引用・複製については、著作権を侵害されないようご注意願います。

著作権については、以下のWebページなどを参照してください。

<https://sougo.iuce.ip/business/copyright/index.html>